

The Study Group  
on the Improvement  
of HIV Testing  
and Counseling Services  
in Japan.

200629022A

厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業

# HIV検査相談機会の拡大と 質的充実に関する研究

平成18年度研究報告書

主任研究者

今井光信

(神奈川県衛生研究所)

厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業

# HIV 検査相談機会の拡大と質的充実に関する研究

平成18年度 研究報告書

主任研究者

今井光信

(神奈川県衛生研究所)

厚生労働科学研究費補助金 HIV検査相談機会の拡大と質的充実に関する研究班 班員名簿(分担研究者) 平成18年度

班員名	所属	職名	〒	住所	電話(内線)	FAX	Eメール
今井 光信	神奈川県衛生研究所	所長	253-0087	茅ヶ崎市下町屋1-3-1	0467-83-4400	0467-83-4457	imaim@d2.dion.ne.jp
中瀬 克己	岡山市保健所	所長	700-8546	岡山市鹿田町1-1-1	086-803-1262	086-803-1758	katsumi_nakase@city.okayama.okayama.jp
立川 夏夫	国立国際医療センター エイズ治療研究開発センター 医療情報室	室長	162-8655	新宿区戸山1-21-1	03-3202-7181	03-3208-4244	ntachika@imcj.hosp.go.jp
吉田 靖子	東京都健康安全研究センター 微生物部ウイルス研究科	科長	169-0073	新宿区百人町3-24-1	03-3363-3231	03-3363-3263	Yasuko_Yoshida@member.metro.tokyo.jp
大竹 徹	大阪府立公衆衛生研究所 感染症部ウイルス課	課長	537-0025	大阪市東成区中道1-3-69	06-6972-1321 (376)	06-6972-2393	otake@iph.pref.osaka.jp
澤田 幸治	北海道立衛生研究所	所長	060-0819	札幌市北区北19条西12丁目	011-747-2766	011-736-9476	ysawada@iph.pref.hokkaido.jp
小島 弘敬	東京都南新宿検査・相談室	室長	151-0053	渋谷区代々木2-7-8 東京南新宿ビルディング3F	03-3377-8122	03-3377-0821	seeker-of-world@d3.dion.ne.jp
松浦 基夫	特定非営利活動法人 CHARM	運営委員	530-0031	大阪市北区営業町10-19	06-6354-5901	06-6354-5902	charm@k4.dion.ne.jp
金光 公浩	日本赤十字社 血液事業本部	副本部長	135-8521	江東区辰巳2-1-67	03-5534-7503	03-5534-3774	k-kanemitsu@bs.jrc.or.jp
玉城 英彦	北海道大学大学院医学研究科 国際保健医学分野	教授	060-8638	札幌市北区北15条西7丁目	011-706-5051	011-706-7374	tamashiro@med.hokudai.ac.jp
木村 和子	金沢大学大学院自然科学研究科 国際保健薬学研究室	教授	920-1192	金沢市角間町 金沢大学自然科学1号館	076-234-4402	076-234-4402	kimurak@p.kanazawa-u.ac.jp
矢永由里子	(財)エイズ予防財団 研修研究部	課長	105-0001	千代田区三崎町1-3-12 水道橋ビル5階	03-5259-1811	03-5259-1812	yanaga@jfap.or.jp
嶋 貴子	神奈川県衛生研究所 微生物部	主任研究員	253-0087	茅ヶ崎市下町屋1-3-1	0467-83-4400	0467-83-4457	takawoo@hotmail.com
加藤 真吾	慶應義塾大学 医学部 微生物学・免疫学教室	助手	160-8582	新宿区信濃町35	03-3353-1211 (2695)	03-5360-1508	skato@sc.itc.keio.ac.jp
杉浦 亙	国立感染症研究所 エイズ研究センター 第2研究グループ	グループ長	208-0011	武蔵村山市学園4-7-1	042-561-0771 (240)	042-565-3315	wsugiura@nih.go.jp

HIV検査相談研究班事務局 <神奈川県衛生研究所 微生物部>

〒253-0087 茅ヶ崎市下町屋1-3-1 TEL: 0467-83-4400 FAX: 0467-83-4457

事務担当(内線2210): 小林寛子 (kensahan@m10.alpha-net.ne.jp)

／ 経理担当(内線2012): 田村 哲 (eiken.1540@pref.kanagawa.jp)

研究担当(内線2210): 近藤真規子 (macoco@bekkoame.ne.jp) 嶋 貴子 (takawoo@hotmail.com) 須藤弘二 (phai@mail7.alpha-net.ne.jp)

厚生労働科学研究費補助金 HIV検査相談機会の拡大と質的充実に関する研究班 班員名簿 (地方衛生研究所) 平成18年度

班員名	所属	職名	電話(内線)	FAX	所属	研究担当者	Eメール
澤田 幸治	北海道立衛生研究所	所長	011-747-2766	011-736-9476	生物科学部 微生物部 ウイルス科	長野秀樹	ysawada@iph.pref.hokkaido.jp nagano@iph.pref.hokkaido.jp
阿部 幸史	仙台市衛生研究所	所長	022-236-7722 022-236-7737	022-236-8601	微生物課	勝見正道	fuk005620@city.sendai.jp
土井 幹雄	茨城県衛生研究所	所長	029-241-6652 (334)	029-243-9550	微生物部	原 孝 増子京子	vkaiseki@atlas.plala.or.jp
篠崎 邦子	千葉県衛生研究所	室長	043-266-6725	043-265-5544	ウイルス研究室	岡田隆幸 三瓶憲一	k.shnzk4@mb.pref.chiba.jp
菊地 好則	埼玉県衛生研究所	室長	048-853-5034	048-840-1041	疫学科 ウイルス担当	篠原美千代 内田和江 島田慎一	a0183437@pref.saitama.lg.jp
吉田 靖子	東京都健康安全研究センター 微生物部ウイルス研究科	科長	03-3363-3231	03-3363-3263	微生物部 ウイルス研究科	貞升健志 新開敬行 長島真美	Kenji_Sadamasu@member.metro.tokyo.jp
今井 光信	神奈川県衛生研究所	所長	0467-83-4400	0467-83-4457	微生物部	近藤真規子 嶋 貴子 須藤弘二	imaim@d2.dion.ne.jp
野口 有三	横浜市衛生研究所	課長補佐	045-754-9800	045-754-2210	検査研究課	野口有三 宇宿秀三	yu00-noguchi@city.yokohama.jp
藤原 恵治	山梨県衛生公害研究所	所長	055-253-6721	0552-53-5637	微生物部	山上隆也 原 俊吉	yamagami-yjz@pref.yamanashi.lg.jp
皆川 洋子	愛知県衛生研究所	部長	052-910-5674	052-913-3641	ウイルス疫学科	秦 真美	hiroko_minagawa@pref.aichi.lg.jp mami_hata@pref.aichi.lg.jp
坪内 彰	福井県衛生環境研究センター	所長	0776-54-5630	0776-54-5630	保健科学部 ウイルス・生化学研究グループ	中村雅子	nakamuramasako@fklab.fukui.fukui.jp
大竹 徹	大阪府立公衆衛生研究所 感染症部ウイルス課	課長	06-6972-1321 (376)	06-6972-2393	感染症部 ウイルス課	森 治代 川畑拓也 小島洋子	otake@iph.pref.osaka.jp
吉村 幸男	兵庫県立健康環境 科学研究センター	所長	078-511-6804	078-531-7080	微生物部	近平雅嗣	Masatsugu_Chikahira@pref.hyogo.jp
池田 義文	広島市衛生研究所	専門員	082-277-6998	082-277-0410	生物科学部	池田義文 野田 衛	y-ikeda@city.hiroshima.jp
大瀬戸 光明	愛媛県立衛生環境研究所	課長	089-931-8757	089-947-1262	微生物試験室	近藤玲子 豊島千俊	oseto-mitsuaki@pref.ehime.jp kondo-reiko@pref.ehime.jp toyoshima-chitoshi@pref.ehime.jp
千々和勝己	福岡県保健環境研究所 ウイルス課	課長	092-921-9945	092-928-1203	ウイルス課	千々和勝己 江藤良樹	chijiwa@fihes.pref.fukuoka.jp

厚生労働科学研究費補助金 HIV検査相談機会の拡大と質的充実に関する研究班 班員名簿(特別協力研究者) 平成18年度

班員名	所属	職名	〒	住所	電話(内線)	FAX	Eメール
潮見 重毅	栃木県南健康福祉センター	所長	323-0811	小山市犬塚3-1-1	0285-22-0302	0285-22-8403	shiomis01@pref.tochigi.jp
市川 誠一	名古屋市立大学大学院看護学研究科	教授	467-8601	名古屋瑞穂区瑞穂町字川澄1	052-853-8089	052-852-4641	yaichisei@yahoo.co.jp
鬼塚 直樹	カリフォルニア大学サンフランシスコ校 エイズ予防研究センター	専門官	94105	50 Beale Street, Suite 1200, San Francisco, CA USA	415-597-9375	415-597-8299	nonizuka@webjapan.us
浦尾 充子	千葉大学附属病院カウンセリング室	カウンセラー	260-0856	千葉市中央区亥鼻1-8-1	043-226-2383	043-226-2295	urao@pbh.med.kyoto-u.ac.jp
橋とも子	国立保健医療科学院 人材育成部	主任研究官	351-0197	埼玉県和光市南2-3-6	048-458-6131	048-458-6714	ttomoko@niph.go.jp
尾本由美子	滋賀県健康福祉部 健康推進課	主幹	520-8577	滋賀県大津市京町4-1-1	077-528-3611	077-528-4850	omoto-yumiko@pref.shiga.lg.jp
小泉 京子	江戸川保健所 保健予防課	保健師	132-8507	江戸川区中央4-24-19	03-5661-2475	03-3655-9925	kyouko-koizumi@city.edogawa.tokyo.jp
角野 文彦	滋賀県東近江保健所	所長	527-0023	滋賀県東近江市八日市緑町8-22	0748-22-1253	0748-22-1617	
相楽 裕子	横浜市立市民病院 感染症部	部長	240-8555	横浜市保土ヶ谷区岡沢町56	045-331-1961	045-331-1960	hsagara@msf.biglobe.ne.jp
岩室 紳也	地域医療振興協会 ヘルスプロモーション研究センター	センター長	102-0093	千代田区平河町2-4-1 日本都市センター9F	03-5275-1051	03-5275-1052	shin.iwamura@nifty.ne.jp
伊藤 章	国際医療福祉大学付属熱海病院 内科・臨床検査室	教授	413-0012	熱海市東海岸町13-1	0557-81-9171	0557-83-6632	aito@iuhw.ac.jp
大林 民典	東京都立駒込病院 臨床検査科	部長	113-8677	文京区本駒込3-18-22	03-3823-2101	03-5814-3366	tami@cick.jp
井戸田 一朗	東京女子医科大学 感染症科	医師	162-8666	新宿区河田町8-1	03-3353-8111	03-3358-8995	itoda@ciabo.twmu.ac.jp
日野 学	日本赤十字社 血液事業本部	課長	135-8521	江東区辰巳2-1-67	03-5534-7503	03-5534-3774	s-hino@bs.jrc.or.jp
高山 義浩	佐久総合病院 総合診療科	医師	384-0301	長野県佐久市臼田197	0267-82-3131	0267-82-2992	ihf-adm@umin.ac.jp
清水 茂徳	ライフ・エイズ・プロジェクト	代表	100-8691	東京都中央郵便局私書箱490号	03-5685-9716	03-5685-9703	shimizu@lap.jp
堀 成美	東京都立駒込病院 感染症科	看護師	113-0021	文京区本駒込3-18-22	03-3823-2101	03-3823-5433	hnarumi@mb.infoweb.ne.jp
草田 央	ライフ・エイズ・プロジェクト	スタッフ	100-8691	東京都中央郵便局私書箱490号	03-5685-9716	03-5685-9703	aids@t3.rim.or.jp
澤畑 一樹	㈱三菱化学ピーシーエル 学術部	主事	174-8555	板橋区志村3丁目30番1号	03-5994-2196	03-5994-2931	sawahata-o@mui.biglobe.ne.jp

厚生労働科学研究費補助金 HIV検査相談機会の拡大と質的充実に関する研究班 班員名簿(特別協力研究者) 平成18年度

班員名	所属	職名	〒	住所	電話(内線)	FAX	Eメール
西大條文一	北新宿同仁斎メディカルクリニック	院長	169-0074	新宿区北新宿3-1-2-2F	03-3369-6030	03-3369-6029	info@dojinsai.com
小林 米幸	小林国際クリニック	院長	242-0005	大和市西鶴間3-5-6-110	046-263-1380	046-263-0919	fwix7324@mb.infoweb.ne.jp
赤枝 恒雄	赤枝六本木診療所	院長	106-0046	港区元麻布3-1-30	03-3405-1388	03-3403-4680	spin-dr@fc4.so-net.ne.jp
尾上 泰彦	宮本町中央診療所	院長	210-0004	川崎市川崎区宮本町4-1	044-211-6581	044-211-1972	onoye@dd.ij4u.or.jp
尾関 全彦	尾関皮膚泌尿器科	院長	135-0048	東京都江東区門前仲町2-6-2 幸栄ビル3階	03-3630-1241	03-3630-1241	
大國 剛	大國診療所	院長	530-0057	大阪市北区曽根崎2-5-24 石見ビル3F	06-6312-8423	06-6312-9440	
大里 和久	大里クリニック	院長	563-0027	池田市上池田1-8-13	0727-53-2553	0727-53-2553	docosato@hotmail.com
岩澤 昌彦	岩澤クリニック	院長	060-0061	札幌市中央区南1条西16丁目 レーベンビル2F	011-613-6000	011-613-3000	iwasawa@mb.snowman.ne.jp
保科 真二	保科医院	院長	604-8032	京都市中京区西木屋町六角 下ガール山崎町258	075-221-4775	075-221-4787	info@hoshina-iin.com
上村 茂仁	ウイメンズクリニック・かみむら	院長	700-0901	岡山市本町4-18 コア本町ビル3F	086-803-5338	086-803-5339	kamimura@kitty.jp
上村 哲	上村病院	院長	904-0021	沖縄県沖縄市胡屋1-6-2	098-938-1035	098-939-4206	
吉尾 弘	吉尾産婦人科医院	院長	064-0808	北海道札幌市中央区南8条西3丁目	011-511-5564	011-511-5564	
多和田俊保	たわだ泌尿器科	院長	460-0011	名古屋市中区大須3丁目14-43 大須第2アメ横ビル3F	052-238-3555	052-238-3536	urotawada35@lime.ocn.ne.jp
江畑 貴文	文化村通りクリニック	院長	150-0043	渋谷区道玄坂2-25-10 小田原屋ビル4F	03-5459-4070	03-3780-7702	info@bunkamura.org
立山 啓悦	ひろクリニック	院長	150-0043	渋谷区道玄坂2-28-3 クラストビル4F	03-5458-1860	03-5458-1860	hiro196779@yahoo.co.jp
大原 宏樹	山の手クリニック(新宿院)	院長	160-0021	新宿区歌舞伎町2-45-1 第5ライデンビル5F	0120-156-119	050-3097-5061	ohara@yacu.jp
山口 眞澄	山の手クリニック(池袋院)	院長	170-0013	東京都豊島区東池袋1-32-2 小川ビル4階	0120-156-119	050-3497-5361	info@y-cn.jp
山中 晃	新宿東口クリニック	院長	160-0022	新宿区新宿3-17-5 カワセビル7F	03-5366-3389		kouy@ff.ij4u.or.jp
鷺山 和幸	さざやま泌尿器クリニック	院長	810-0001	福岡市中央区天神1丁目3-38 天神121ビル3F	092-720-3077	092-720-3078	uro@sagiyama.net
谷口 恭	すてらめいとクリニック	院長	530-0051	大阪市北区太融寺町4-20 すてらめいとビル4階	06-6364-4177	06-6364-4188	cyc02414@nifty.com
鳥海 一浩	株式会社 エスエル 感染免疫部	部長	192-8535	八王子市小宮51	0426-28-4083	0426-48-4041	k-toriumi@srl.srl-inc.co.jp

# 平成18年度研究報告書

## 目次

### I. 総括研究報告

HIV検査相談機会の拡大と質的充実に関する研究 ..... 1

— 総括研究報告(平成18年度) —

今井 光信 (神奈川県衛生研究所)

### II. 分担研究報告

#### 1. ホームページ「HIV検査相談マップ」による

HIV検査相談事業の情報提供およびHIV広報効果のモニタリング ..... 45

嶋 貴子 他 (神奈川県衛生研究所)

2. HIV検査相談に関する全国保健所のアンケート調査 ..... 49

今井 光信 他 (神奈川県衛生研究所)

3. HIV検査機関における即日検査の実施状況およびその効果 ..... 78

嶋 貴子 他 (神奈川県衛生研究所)

4. 医療機関における検査相談体制 ..... 89

立川 夏夫 他 (国立国際医療センター)

5. 長野県佐久地域におけるHIV/AIDS発生動向と対策 ..... 91

高山 義浩 (佐久総合病院総合診療科)

6. 特別検査施設(南新宿検査相談室)における検査相談体制	100
小島 弘敬 他 (東京都南新宿検査相談室)	
7. HIV郵送検査に関する実態調査	109
須藤 弘二 他 (神奈川県衛生研究所)	
8. HIV自己検査キットの流通実態に関する調査研究	119
木村 和子 他 (金沢大学大学院)	
9. HIV検査の質的充実に関する研究(相談事例集の作成)	166
中瀬 克己 他 (岡山市保健所)	
10. 相談・カウンセリングの質的充実に関する研究(研修資料の作成)	171
矢永 由里子 他 ((財)エイズ予防財団)	
11. NPOによるHIV検査相談体制と担当者への研修体制	175
松浦 基夫 他 (特定非営利活動法人 CHARM)	
12. 北海道におけるHIV検査のニーズに関する調査	180
玉城 英彦 (北海道大学大学院)	
13. 北海道におけるHIV検査体制と感染状況	190
澤田 幸治 他 (北海道立衛生研究所)	
14. 東京都のHIV検査体制と検査結果の解析	197
吉田 靖子 他 (東京都健康安全研究センター)	
15. 埼玉県におけるHIV検査体制と受検状況について	204
菊池 好則 他 (埼玉県衛生研究所)	



16. 愛知県におけるHIV検査結果の解析 .....	208
皆川 洋子 他 (愛知県衛生研究所)	
17. 大阪府における公的検査の現状と民間クリニックにおける疫学調査 .....	212
大竹 徹 他 (大阪府立公衆衛生研究所)	
18. 日赤におけるHIV対策と検査相談との連携 .....	221
金光 公浩 他 (日本赤十字社)	
19. 新規迅速検査試薬の性能評価 .....	228
嶋 貴子 他 (神奈川県衛生研究所)	
20. HIV-1 RNA定量キットのコントロールサーベイ .....	237
加藤 真吾 他 (慶應義塾大学)	
21. HIV検査技術の技術研修と普及 .....	245
杉浦 互 (国立感染症研究所)	

### Ⅲ. 研究成果の刊行に関する一覧表

研究成果の刊行に関する一覧表 .....	251
----------------------	-----

# I . 総括研究報告

# HIV 検査相談機会の拡大と質的充実に関する研究

主任研究者 今井光信

(神奈川県衛生研究所)

## 総括研究報告

### 目的

本研究班は、保健所や医療機関における HIV 検査相談の機会を活用して、HIV 感染者の早期発見・早期治療と感染予防・感染拡大の防止を計るため、(1) HIV 検査相談機会の拡大に関する研究、(2) 相談・カウンセリングの質的向上に関する研究、(3) HIV 検査技術の開発・改善・導入・普及等に関する研究等、3 課題の研究を行った。

### ( 分担研究者 )

中瀬克己 (岡山市保健所)	立川夏夫 (国立国際医療センター)
吉田靖子 (東京都健康安全研究センター)	大竹 徹 (大阪府立公衆衛生研究所)
澤田幸治 (北海道立衛生研究所)	小島弘敬 (東京都南新宿検査・相談室)
松浦基夫 (特定非営利活動法人 CHARM)	金光公浩 (日本赤十字社血液事業本部)
玉城英彦 (北海道大学大学院)	木村和子 (金沢大学大学院)
矢永由里子 ((財) エイズ予防財団)	嶋 貴子 (神奈川県衛生研究所)
加藤真吾 (慶應義塾大学医学部)	杉浦 互 (国立感染研エイズ研究センター)

### ( 協力研究者 )

潮見重毅 (栃木県県南健康福祉センター)	市川誠一 (名古屋市立大学)
鬼塚直樹 (カリフォルニア大学)	浦尾充子 (千葉大学附属病院)
橘とも子 (国立保健医療科学院)	尾本由美子 (滋賀県健康福祉部健康増進課)
小泉京子 (東京都江戸川保健所)	角野文彦 (滋賀県東近江保健所)
相楽裕子 (横浜市立市民病院)	岩室紳也 (地域医療振興協会)
伊藤 章 (国際医療福祉大学附属熱海病院)	大林民典 (東京都立駒込病院)
井戸田一朗 (東京女子医科大学)	高山義浩 (佐久総合病院)
日野 学 (日本赤十字社血液事業本部)	堀 成美 (東京都立駒込病院)
清水茂徳 (ライフ・エイズ・プロジェクト)	草田 央 (ライフ・エイズ・プロジェクト)
今井敏幸 (東京都南新宿検査・相談室)	岳中美江 (特定非営利活動法人 CHARM)
鳥海一浩 (SRL 感染免疫部)	澤畑一樹 (三菱化学ビーシーエル)
西大條文一 (北新宿同仁齋 <sup>※</sup> イカルクリニック)	小林米幸 (小林国際クリニック)
赤枝恒雄 (赤枝六本木診療所)	大國 剛 (大國診療所)
尾上泰彦 (宮本町中央診療所)	大里和久 (大里クリニック)
尾関全彦 (尾関皮膚泌尿器科)	保科真二 (保科医院)
岩澤昌彦 (岩澤クリニック)	上村茂仁 (ウィメンズクリニック・かみむら)
吉尾 弘 (吉尾産婦人科医院)	上村 哲 (上村医院)
多和田俊保 (たわだ泌尿器科)	江畑貴文 (文化村通りクリニック)
立山啓悦 (ひろクリニック)	大原宏樹 (山の手クリニック (新宿院))
山口眞澄 (山の手クリニック (池袋院))	山中 晃 (新宿東口クリニック)
鷺山和幸 (さぎやま泌尿器クリニック)	谷口 恭 (すてらめいとクリニック)
長野秀樹 (北海道立衛生研究所)	阿部幸史 (仙台市衛生研究所)
土井幹雄 (茨城県衛生研究所)	篠崎邦子 (千葉県衛生研究所)
菊池好則 (埼玉県衛生研究所)	貞升健志 (東京都健康安全研究センター)
野口有三 (横浜市衛生研究所)	藤原恵治 (山梨県衛生公害研究所)
皆川洋子 (愛知県衛生研究所)	坪内 彰 (福井県衛生環境研究センター)
川畑拓也 (大阪府公衆衛生研究所)	吉村幸男 (兵庫県立健康環境科学研究センター)
池田義文 (広島市衛生研究所)	大瀬戸光明 (愛媛県立衛生研究所)
千々和勝己 (福岡県保健環境研究所)	近藤真規子 (神奈川県衛生研究所)

## 研究要旨

本研究班は、保健所や医療機関における HIV 検査相談の機会を活用して、HIV 感染者の早期発見・早期治療と感染予防・感染拡大の防止を計るため、(1) HIV 検査・相談機会の拡大に関する研究、(2) 相談・カウンセリングの質的向上に関する研究、(3) HIV 検査技術の開発・改善・導入・普及等に関する研究、等の 3 課題を重点課題として下記の項目の研究を行った。

### (1) HIV検査・相談の機会の拡大に関する研究

#### ① HIV検査相談の広報に関する研究

本研究班で作成しているホームページ「HIV検査・相談マップ」を活用し、最新の HIV検査情報を提供すると共に、受検希望者のニーズ解析を行った。

#### ② 保健所等HIV無料検査に関する全国調査

保健所および特設無料検査施設で実施されているHIV無料匿名検査の現状を把握し、その充実を計るためアンケート調査を行い、その結果を解析した。

#### ③ 協力民間クリニックにおける即日検査の実施とその効果のモニタリング

本研究班では、研究班協力民間クリニックで行われているHIV即日検査(有料)を、ホームページ「HIV検査・相談マップ」で紹介し、その効果と検査数・陽性数のモニタリングを行った。

#### ④ 医療機関におけるHIV検査相談体制に関する研究

医療機関におけるHIV検査機会の普及・拡大のため、本年度は HIV検査に先駆的に取り組んでいる長野県佐久病院における取り組みを調査すると共に、医療機関におけるHIV検査のガイドライン・マニュアル等作成のための素案の検討を行った。

#### ⑤ HIV検査と同時に他のSTI検査を実施することの影響・効果に関する研究

東京都南新宿HIV検査相談室においてSTI検査を試験的に導入しその効果や影響を調査した結果、STI検査に対する受検者のニーズが高いこと、また、STI検査の同時実施により受検者数が増加すること等が明らかとなった。

#### ⑥ HIV 郵送検査に関する研究

現在 WEB 上でその取り扱いサイトが急速に増加しつつある HIV 郵送検査に関して、郵送検査会社を対象にアンケート調査を行いその実態を調査すると共に、パネル検体を用いて検査精度の調査を行った。

#### ⑦ 自己診断キットの調査

WEB 上で入手可能な自己診断キットについてその実態と問題点を明らかにした。

### (2) 相談・カウンセリングの質的向上に関する研究

#### ① HIV 検査・相談事例集(追補版)の作成

HIV 検査相談担当者からの要望が多かった、HIV 検査陽性例を加えた相談事例集(追補版)の作成と配布を行った。

#### ② HIV 検査相談担当者の研修に関する研究

HIV 検査・相談を担当する人材育成のための研修をより効果的にまた充実した内容で行えるよう、本年度は研修資料およびガイドラインの作成に向けて、その素案の作成と検討を行った。

### (3) 検査技術の開発・改善・導入・普及等に関する研究

#### ① 新たな迅速検査法(抗原抗体同時検出迅速キット)の検討を行い、その実用化により迅速検査の検査精度の向上が期待できることを明らかにした。

#### ② HIV-1RNA 定量キットのコントロールサーベイを行い、許容範囲を外れた施設に対しては技術支援を行った。

#### ③ 全国の衛生研究所等の HIV 担当者を対象に HIV 検査技術の技術研修を行いその普及と技術・知識の向上を計った。

## A. 研究目的

本研究班は、保健所や医療機関におけるHIV検査相談の機会を活用して、HIV感染者の早期発見・早期治療と感染予防・感染拡大の防止を計るため、(1) HIV検査相談機会の拡大に関する研究、(2) 相談・カウンセリングの質的向上に関する研究、(3) HIV検査技術の開発・改善・導入・普及等に関する研究、等の3課題の研究を行った。

## B. 研究方法および結果

### (1) HIV検査相談の機会の拡大に関する研究

#### ①ホームページ“HIV検査・相談マップ”を活用した情報提供とニーズ解析に関する研究

当研究班では、保健所等検査機関におけるHIV検査に関する最新情報やHIV検査に関する知識の提供を目的としたホームページ「HIV検査・相談マップ」をPCサイトおよび携帯電話サイトに設置している。PCサイトへのアクセス数は年々増加しており、2006年の一年間のアクセス数は80万件に達し、積算の総アクセス数は300万件を越えている。本ホームページでは、受検者からの意見・質問等も受けつけており、HIV検査に関する個々の質問にも対応している。また、ホームページの各項目・各検査施設へのアクセス状況から、受検者のニーズをモニタリングすると共に、アクセス数の変動から、各種イベントやHIVに関する新聞テレビ等の報道等のインパクトや、効果のモニタリングにも有用であることが分かった。

(詳細は分担研究報告「ホームページ「HIV検査・相談マップ」によるHIV検査相談事業の情報提供及びHIV広報効果のモニタリング」 嶋 貴子 他 参照)

#### ②HIV検査相談に関する全国保健所等アンケート調査

保健所および特設無料検査施設で実施されているHIV検査相談の現状を把握し、HIV検査相談のさらなる充実を計るため、全国の

536保健所と9ヶ所の特設検査相談施設を対象にアンケート調査を行った結果、504保健所(94%)と9特設検査相談施設から回答が得られた。保健所でのHIV検査相談に関しては、501保健所で86,604件のHIV検査が行われ、249件(0.3%)が陽性であった。陽性の249件中234件(94%)では受検者が検査結果を聞くため再来所しており、また、その中の177件(76%)に関しては、その後医療機関を受診したことを保健所で把握出来ていた。また、全体の45%の保健所が即日検査を実施しており、即日検査を実施している保健所の平均検査数は、通常検査の保健所の平均検査数に比べ多く、特に夜間、土日では、ほぼ2倍に達していることが分かった。

(詳細は分担研究報告「HIV検査相談に関する全国保健所アンケート調査(H18年度)」 今井光信 他 参照)

#### ③協力民間クリニックにおける即日検査の実施とその効果のモニタリング

2006年では、当研究班の協力民間クリニック19ヶ所において即日検査(有料)を実施しており、その検査合計数は13,670件、陽性数は61件であり、全国の保健所における検査数の16%に相当する検査がこれら19の民間クリニックにおいて行われた。

また、これらクリニックでの受検者に対するアンケート調査の結果では、受検者の約4割から9割がホームページ「HIV検査・相談マップ」を見て受検しており、本ホームページの情報提供の有効性に関しても実証された。

(詳細は分担研究報告「即日検査の実施状況およびその効果」 嶋 貴子 他 参照)

#### ④医療機関におけるHIV検査相談体制に関する研究

HIV検査機会の普及・拡大のため、医療機関の果たし得る役割は非常に大きいと考えられるため、HIV検査に先駆的に取り組んでいる医療機関の実態調査を行うと共に、モデル機関においてHIV検査の試験的実施を行い、

その成果に基づき、ガイドライン・マニュアル等を作成することを目標に研究を行った。

本年度は長野県佐久病院における取り組みを調査し、また、医療機関におけるHIV検査を普及するためのガイドラインの作成にあたり考慮すべき問題点等の整理を行った。

(詳細は分担研究報告「医療機関における検査相談体制」 立川夏夫 他、「長野佐久地域におけるHIV/AIDS発生動向と対策」 高山義浩 参照)

#### ⑤HIV検査と同時に他のSTI検査を実施することの影響・効果に関する研究

東京都南新宿HIV検査・相談室においてSTI検査を試験的に導入しその効果や影響を調査した結果、STI検査に対する受検者のニーズが高いこと、また、STI検査の同時実施により受検者数が増加すること等が明らかとなった。

(詳細は分担研究報告「特別検査施設(南新宿検査・相談室)における検査相談体制」 小島弘敬 他 参照)

#### ⑥HIV郵送検査に関する研究

インターネット上では、HIV郵送検査の取り扱いサイトが増えており、実際に郵送検査を受けた後に保健所等のHIV検査を受ける受検者の数も増えている。これら郵送検査の現状を明らかにするため、郵送検査会社6社を対象にアンケート調査を行い、また、参加希望のあった5社を対象にパネル検体を用いた検査精度の調査を行った。HIV検査の受検費用は2,625円から7,900円で、検査にかかる日数は3～7日であった。検査結果の通知は郵送が中心であり、検査結果が陽性の場合には、病院での受診を勧める説明文を同封していた。2006年の郵送検査の受検総数は28,686件で陽性(スクリーニング検査)は212件であった。また、検査精度の調査では、今回用いたパネル検体での検査結果に関しては、全ての検査において問題はなかった。

(詳細は分担研究報告「HIV郵送検査に関す

る実態調査」 須藤弘二 他 参照)

#### ⑦自己診断キットの調査

HIV自己診断キットはわが国では承認されたものはないが、米国では2006年3月に承認基準が議論され関心が高まっており、また、日本においてもWEB上では、自己診断キットを入手することが可能なことから、これら自己診断キットの実態を調査した。WEB上の情報を介して、輸入代行や直売により入手した7種15サンプルの診断キットのうち、海外では医療用承認のみを有するもの、偽認証マークのもの、有効期限切れのもの、偽造品、等、何らかの問題を有するキットが6種7サンプルにのぼった。また、添付文書が英語のみのもの、日本語であっても説明が不十分のものが大部分であった。(詳細は分担研究報告「HIV自己診断キットの実態に関する研究」 木村和子 他 参照)

#### (2) HIV検査相談の質的充実に関する研究

##### ①HIV検査相談の相談事例集(追補版)の作成

保健所等のHIV検査相談の質的充実を計るため、前研究班においてHIV検査相談の事例集を作成し全国の保健所に配布をおこなった。これに対し、HIV検査陽性事例に対する対応等を含めたさらなる事例集の作成の要望が強かったため、今回は、HIVスクリーニング検査の陽性事例、確認検査陽性の事例等を加えた事例集の作成と配布を行った。

(詳細は分担研究報告「保健所等におけるHIV検査相談の質的充実に関する研究」 中瀬克己 他 参照)

##### ②HIV検査・相談の研修ガイドライン・マニュアルの作成

HIV検査相談の質的充実のためには、検査相談の担当者の対応の質的向上が必須条件であり、そのための人材育成が極めて重要である。HIV検査・相談の担当者を対象とした人材育成のための研修に関して、そのガイドライン・マニュアル等の研修資材を作成するため、本年度

は、検査担当者の研修へのニーズの把握、ガイドラインの基本コンセプトの明確化とガイドラインのアウトラインの作成等を行った。

(詳細は分担研究報告「相談カウンセリングの質的充実に関する研究」 矢永由利子 他、「NPOによる HIV 検査体制と研修体制」 松浦基夫 他 参照)

### ③HIV 検査に関するニーズ調査

北海道の一般集団を対象として、HIV 感染不安の程度や HIV 検査へのニーズに関する調査を行った結果、感染不安を感じながらも実際には検査を受けないでいる潜在的受検希望者がかなり存在することが分かった。また、その対策として、休日や夜間の検査および即日検査等の充実が期待されていることが明らかになった。

(詳細は分担研究報告「北海道における HIV 検査のニーズに関する調査」 玉城英彦 参照)

### ④各地域における取り組み

北海道、東京都、埼玉県、愛知県、大阪府等における HIV 検査相談への取り組み、それぞれの地域特性等に関しては、以下の各分担研究報告「北海道における HIV 検査体制と感染状況」 澤田幸治、「東京都の HIV 検査体制と検査結果の解析」 吉田靖子、「埼玉県における HIV 検査体制と受検状況について」 皆川洋子、「大阪府における公的検査の現状と民間クリニックにおける疫学調査」 大竹徹 を参照。

### ⑤日赤における HIV 対策と検査相談との連携

日本赤十字社では、輸血用血液の安全確保のためのウイルス感染症対策として、核酸増幅検査の導入等スクリーニング検査の高感度化と共に、問診や本人確認の強化等に取り組んでいるが、平成 17 年には 78 例と前年の 92 例より減少した HIV 検査陽性献血者が、平成 18 年には 87 例と再び増加した。HIV 検査陽性献血者の 70%以上が東京、大阪等の大都市圏に集中していることから、大都市圏における HIV 検査相談体制の充実強化と連動して、これら地域にお

いて、献血者層への効果的な働きかけを行うことで、献血者中の HIV 検査陽性数を出来るだけ減少させる努力がさらに必要なことが分かった。

(詳細は分担研究報告「日赤における HIV 対策と検査相談との連携」 金光公浩 他 参照)

## (3) HIV 検査の質的充実に関する研究

### ①新規迅速検査キットの性能評価

抗体とともに P24 抗原も検出可能な新たな迅速診断キットについて検討した結果、抗体検出前の抗原陽性時期の検出も可能であり、また、特異性も 99.8%(偽陽性率 0.2%) と即日検査等への活用が十分期待出来ることが分かった。現在、日本で認可されている迅速検査キットは 1 種類のみであるため、この新規迅速検査キットが使用可能となれば、両検査キットの併用も含め、迅速検査の検査精度の向上に大きく寄与し得るものと期待される。

(詳細は分担研究報告「新規迅速検査試薬の性能評価」 嶋 貴子 他 参照)

### ②HIV-1 RNA 定量キットのコントロールサーベイ

HIV 感染者の治療および病態把握に有用なアンプリコア HIV-1 モニター v1.5 およびコバス HIV-1 モニター v1.5 は、感染初期の確認検査法としても重要な役割を担っているが、これらキットの使用に関してはかなり高度の技術が要求される。このため、これらキットを使用している検査研究機関を対象に、施設間での測定値の差を是正することを目的に測定精度のコントロールサーベイを実施した。参加案内状を送付した 51 施設中 39 施設がコントロールサーベイに参加し、コントロールサーベイの結果、測定値が許容範囲から外れる結果が 13 例見られたため、これら施設には、測定行程の確認と追加のフォローアップサーベイへの参加を推奨し、技術の向上を支援した。

(詳細は分担研究報告「HIV-1 RNA 定量キ

ットのコントロールサーベイ」 加藤真吾 他参照)

### ③HIV 検査技術の技術研修と普及

全国の衛生研究所等の施設において HIV 検査を担当する技術者を対象に、HIV 薬剤耐性や HIV-1、HIV-2 の検査法に関する技術講習会を開催し、HIV 検査技術の普及とその向上を計った。

(詳細は分担研報告「HIV 検査技術の技術研修と普及」 杉浦互 参照)

## C. 考察および結論

本研究班では最重点課題として、①HIV 検査相談の機会の拡大に関する研究、②相談カウンセリングの質的充実に関する研究、③HIV 検査技術の質的向上に関する研究の3課題の研究に取り組んでいる。本年度は、HIV 検査相談機会の拡大に関する研究課題では、即日検査が保健所等の HIV 検査相談に着実に普及しつつあること、また、その結果として、保健所等における HIV 検査相談の受検者数が増加傾向にあることが確認できた。また、有料ではあるが、当研究班の協力民間クリニックにおける HIV 検査の受検者数も年々増加しており、全国 19ヶ所の協力民間クリニックでの受検者数の合計は 13,670 件と保健所での受検者総数の 16%に相当しており、HIV 検査体制の一翼を担う重要な役割を果たしていることが分かった。また、郵送検査に関してもその利用者が年々増加しており、平成 18 年には年間 28,686 件に達しており、今後もこの利用者はさらに増加していくことが推測される。このため、当研究班では、今後とも継続的にその実情把握を行うと共に、検査精度の評価も継続して実施する予定である。相談カウンセリングの質的充実に関する研究に関しては、本年度は、HIV 検査相談の担当者から要望の多かった HIV 検査陽性例を含む検査相談事例集の追補版の作成を最重点課題として行った。また、次年度は、HIV 検

査相談の質的充実に必須となる検査相談担当者の人材育成の鍵となる研修のためのガイドライン・マニュアルの作成を最重点課題として取り組む予定である。HIV 検査技術の質的向上に関する研究に関しては、日本で開発された新規迅速検査キットの検討の結果、極めて有望な検査キットであることが分かり、このキットの実用化は、即日検査の普及と質的向上に大きく貢献できることが期待される。以上、本年度は、最重点課題とした3分野において、それぞれ着実な成果が得られた。

<分担研究報告の一覧>

- ◆ホームページ「HIV 検査・相談マップ」による HIV 検査・相談事業の情報提供および HIV 広報効果のモニタリング (嶋 貴子)
- ◆HIV 検査相談に関する全国保健所のアンケート調査 (今井光信)
- ◆HIV 検査機関における即日検査の実施状況およびその効果 (嶋 貴子)
- ◆医療機関における検査相談体制 (立川夏夫)
- ◆特別検査施設(南新宿検査・相談室)における検査相談体制 (小島弘敬)
- ◆NPOによる HIV 検査相談体制 (松浦基夫)
- ◆北海道における HIV 検査のニーズに関する調査 (玉城英彦)
- ◆日赤における HIV 対策と検査相談との連携 (金光公浩)
- ◆HIV 郵送検査に関する実態調査 (須藤弘二)
- ◆HIV 自己検査キットの流通実態に関する調査研究 (木村和子)
- ◆HIV 検査の質的充実に関する研究(相談事例集の作成) (中瀬克己)
- ◆相談・カウンセリングの質的充実に関する研究(研修資料の作成) (矢永由里子)
- ◆北海道における HIV 検査体制と感染状況 (澤田幸治)



- ◆東京都の HIV 検査体制と検査結果の解析  
(吉田靖子)
- ◆埼玉県における HIV 検査体制と受検状況  
について (菊池好則)
- ◆愛知県における HIV 検査結果の解析  
(皆川洋子)
- ◆大阪府における公的検査の現状と民間クリ  
ニックにおける疫学調査 (大竹 徹)
- ◆長野県佐久地域における HIV/AIDS 発生動  
向と対策 (高山義浩)
- ◆新規迅速検査試薬の性能評価 (嶋 貴子)
- ◆HIV-1 RNA 定量キットのコントロールサ  
ーベイ (加藤真吾)
- ◆HIV 検査技術の技術研修と普及  
(杉浦 互)

< 発表論文リスト >

1. Usuku S, Noguchi Y, Sakamoto M, Adachi T, Sagara H, Sudo K, Nishizawa M, Kondo M, Tochikubo O, Imai M. Analysis of a long-term discrepancy in drug-targeted genes in plasma HIV-1 RNA and PBMC HIV-1 DNA in the same patient. *Jpn J Infect Dis.* 2006 Apr;59(2):122-5.
2. Kato, S., Hanabusa, H., Kaneko, S., Takakuwa, K., Suzuki, M., Kuji, N., Jinno, M., Tanaka, R., Kojima, K., Iwashita, M., Yoshimura, Y., and Tanaka, K. (2006) Complete removal of HIV-1 RNA and proviral DNA from semen by the swim-up method: Assisted reproduction technique using spermatozoa free from HIV-1. *AIDS* 20(7):967- 973.
3. Hamatake, M., Nishizawa, M., Yamamoto, N., Kato, S., and Sugiura, W. A simple competitive RT-PCR assay for quantitation of HIV-1 subtype B and non-B RNA in plasma. *J. Virol. Methods* (in press)
4. Tomoko Chiba-Mizutani, Hideka Miura, Masakazu Matsuda, Zene Matsuda, Yoshiyuki Yokomaku, Kosuke Miyauchi, Masako Nishizawa, Naoki Yamamoto, Wataru Sugiura. New T-Cell-Based Lines with Two Luciferases for Accurately Evaluating Susceptibility to HIV-1 Drugs. *J Clinical Microbiology*, in press.
5. Hiroyuki Gatanaga, Shiro Ibe, Masakazu Matsuda, Shigeru Yoshida, Tsukasa Asagi, Makiko Kondo, Kenji Sadamasu, Hiroki Tsukada, Aki Masakane, Haruyo Mori, Noboru Takata, Itsuhiro Nakagiri, Rumi Minami, Masao Tateyama, Takao Koike, Toshihiro Itoh, Mitsunobu Imai, Fumitake Gejyo, Mikio Ueda, Motohiro Hamaguchi, Yoko Kojima, Takuma Shirasaka, Akio Kimura, Masahiro Yamamoto, Jiro Fujita, Shinichi Oka, and Wataru Sugiura. Nationwide Survey of Drug-Resistant HIV-1 Prevalence in Patients Newly Diagnosed with HIV/AIDS in Japan. *Antiviral Research*, in press.
6. Afework Kassu, Masayuki Fujino, Masakazu Matsuda, Masako Nishizawa, Fusao Ota, Wataru Sugiura. Molecular Epidemiology of HIV-1 in Treatment Naive Patients in North Ethiopia. *AIDS Research and Human Retroviruses*, in press.
7. Kousuke Miyauchi, Jun Komano, Lay Myint, Yuko Futahashi, Emiko Urano, Zene Matsuda, Tomoko Chiba, Hideka Miura, Wataru Sugiura and Naoki Yamamoto. Rapid propagation of low-fitness drug-resistant mutants of human immunodeficiency virus type 1 by a

- streptococcal metabolette sparsomycin. *Antiviral Chemistry & Chemotherapy*, 17(4):167-174, 2006
8. Hirotaka Ode, Saburo Neya, Masayuki Hata, Wataru Sugiura, Tyuji Hoshino. Computational Simulations of HIV-1 Proteases-Multi-drug Resistance Due to Nonactive Site Mutation L90M. *J. AM. Chem. Soc.*, 128:7887-7895, 2006
  9. Joke Snoeck, Rami Kantor, Robert W. Shafer, Kristel Van Laethem, Koen Deforche, Ana Patricia Carvalho, Brian Wynhoven, Marcel A. Soares, Patricia Cane, John Clarke, Candice Pillay, Sunee Sirivichayakul, Koya Ariyoshi, Africa Holguin, Hagit Rudich, Rosangela Rodrigues, Maria Belen Bouzas, Françoise Brun-Vezinet, Caroline Reid, Pedro Cahn, Luis Fernando Brigido, Zehava Grossman, Vincent Soriano, Wataru Sugiura, Praphan Phanuphak, Lynn Morris, Jonathan Weber, Deenan Pillay, Amilcar Tanuri, Richard P. Harrigan, Ricardo Camacho, Jonathan M. Schapiro, David Katzenstein, and Anne-Mieke Vandamme. Discordances between Interpretation Algorithms for Genotypic of Human Immunodeficiency Virus Are Subtype Dependent. *Antimicrobial Agents and Chemotherapy*. 50(2): 694-701, 2006
  10. Deforche K, Camacho R, Grossman Z, Silander T, Soares MA, Moreau Y, Shafer RW, Van Laethem K, Carvalho AP, Wynhoven B, Cane P, Snoeck J, Clarke J, Sirivichayakul S, Ariyoshi K, Holguin A, Rudich H, Rodrigues R, Bouzas MB, Cahn P, Brigido LF, Soriano V, Sugiura W, Phanuphak P, Morris L, Weber J, Pillay D, Tanuri A, Harrigan PR, Shapiro JM, Katzenstein DA, Kantor R, Vandamme AM. Bayesian network analysis of resistance pathways against protease inhibitors. *Infect Genet Evol.* 2006 Nov 24
  11. Koga I, Odawara T, Matsuda M, Sugiura W, Goto M, Nakamura T, Iwamoto A. Analysis of HIV-1 sequences before and after co-infecting syphilis. *Microbes Infect.* 2006 Oct 23
  12. Omura M, Furuya K, Kudo S, Sugiura W, Azuma H. Detecting IgM antibodies against microsporidian *Encephalitozoon cuniculi* polar tubes in sera from healthy and HIV-infected Japanese. *Clin Vaccine Immunol.* 2006 Nov 15
  13. 嶋貴子、一色ミユキ、近藤真規子、塚田三夫、潮見重毅、今井光信. 保健所における HIV 即日検査導入の試みとその効果. *日本公衆衛生雑誌* 53(3):167-177, 2006.
  14. 須藤弘二、嶋貴子、近藤真規子、加藤真吾、今井光信. (2007) Real-time PCR を用いた HIV-1 RNA 測定キットの基礎的検討. *感染症学雑誌* 81(1), 1- 5.
  15. 長島真美、貞升健志、新開敬行、秋場哲哉、吉田 勲、吉田靖子、矢野一好、甲斐明美、諸角 聖、東京都における HIV 検査成績(1999 年-2004 年)、東京都健康安全研究センター年報, 56, 2005
  16. 川畑拓也、小島洋子、森 治代、大竹徹、大國 剛、当所にて HIV 感染を確認した、2 例のイムノクロマトグラフィー法陰性の感染初期例、*感染症学雑誌*, 81, 76-77, 2007
  17. 杉浦 互. 新規 HIV/AIDS 診断症例における薬剤耐性 HIV-1 の動向調査 (2003~2004 年) . *病原微生物検出情報* 27(5):119-120, 2006

<学会発表リスト>

1. T. Shima, M. Isshiki, M. Tsukada, S. Shiomi, R. Yasunari, H. Watanabe, H. Ueyama, K. Sudo, M. Kondo, K. Nakase, M. Imai: Implementation and Effectiveness of Rapid HIV Testing at Publicly Funded Voluntary HIV Counseling and Testing (VCT) Sites in Japan. XVI International AIDS Conference. (13-18 August, 2006, Toronto, Canada)
2. K. Nakase, T. Shima, M. Imai, T. Tachibana: Introduction of rapid test to VCT and continuous evaluation systems in Japan. XVI International AIDS Conference. (13-18 August, 2006, Toronto, Canada)
3. M. Kondo, K. Sudo, R. Tanaka, T. Shima, H. Sagara, S. Iwamuro, Y. Takebe, S. Kato, M. Imai: A quantification of HIV-1 group M proviral DNA using a TaqMan MGB realtime PCR. XVI International AIDS Conference. (13-18 August, 2006, Toronto, Canada)
4. R. Yamada, T. Shima, M. Imai, I. Genka, M. Ogane, M. Kawado, H. Taniguchi, Y. Tsukahara, N. Inaba: The false positive rate of antenatal HIV screening is very high in Japan. XVI International AIDS Conference. (13-18 August, 2006, Toronto, Canada)
5. Shingo Kato, Rie Tanaka, Hideji Hanabusa, Ei Kinai, Masayoshi Negishi. Quantification of intracellular efavirenz in HIV-1-infected patients by LC-MS/MS. XVI International AIDS Conference. 2006, August 13-18, Toronto, Canada.
6. Wataru Sugiura: Drug Resistance assays. International Conference on Molecular and Cellular Biology of Therapeutics of HIV and Associated Viral Infections. Jan.12-14, 2007, Hyderabad, India
7. Hua Yan, Kazuro Shiomi Nobuhiko Nomura, Tomoko Chiba-Mizutani, Hideka Miura, Tadakazu Takakura, Haruo Tanaka Wataru Sugiura: New HIV-1 integrase inhibitors identified from small molecule chemical library and microbial metabolites. International Workshop on Discovery of antiviral compounds. Apr. 26-29, 2006, Lubeck, Germany
8. T Ueda, M Itaya, K Tusge, K Fujita, M Matsuda, M Nishizawa, W Sugiura: Reconstruction of HIV-1 full genome clones with *Bacillus subtilis*. HIV Drug Resistance Workshop. Jun 13-17, 2006, Spain
9. Rajintha M. Bandaranayake, Moses Prabu-Jeyabalan, Junko Kakizawa, Wataru Sugiura, Celia Shiffer: Structural Analysis of HIV-1 CRF01\_Protease in Complex with the Substrate p1-p6. 7<sup>th</sup> Annual Symposium on Antiviral Drug Resistance. Nov. 12-15, 2006, Virginia.
10. Junko Shibata, Masako Nishizawa, Masakazu Matsuda, Wataru Sugiura, Fengrong Ren, Hiroshi Tanaka: Analysis of Co-Evolution Between Mutations in Protease Inhibitor Resistance and in Gag. 7<sup>th</sup> Annual Symposium on Antiviral Drug Resistance. Nov. 12-15, 2006, Virginia.
11. Wataru Sugiura: Virological and Statistical Analyses of Interference between Protease Inhibitor Resistant Mutations and Gag Mutations. 13th Conference on Retroviruses and Op-

- portunistic Infections. Feb. 5-9, 2006, Denver, USA
12. Wataru Sugiura: Multi-Center Nationwide Survey of Drug Resistant HIV-1 in Newly Diagnosed HIV/AIDS Patients in Japan from 2003 to 2004. 13th Conference on Retroviruses and Opportunistic Infections. Feb. 5-9, 2006, Denver, USA
  13. 嶋 貴子: 妊婦 HIV 検査実施率および検査偽陽性とその対応. 日本性感染症学会第 19 回学術大会シンポジウム. (平成 18 年 12 月 9-10 日, 金沢)
  14. 谷口晴記、塚原優己、川戸美由紀、源河いくみ、山田里佳、大金美和、嶋 貴子、和田裕一、喜多恒和、稲葉憲之: 我が国の HIV 感染妊娠の将来予測 (中・長期展望): 日本性感染症学会第 19 回学術大会シンポジウム. (平成 18 年 12 月 9-10 日, 金沢)
  15. 嶋 貴子: スクリーニング検査偽陽性の現状と対策. 第 20 回日本エイズ学会学術集会・総会. (平成 18 年 11 月 30 日-12 月 2 日, 東京)
  16. 嶋 貴子、近藤真規子、須藤弘二、相楽裕子、今井光信: 新しい HIV 迅速抗体検査キットの検討. 第 20 回日本エイズ学会学術集会・総会. (平成 18 年 11 月 30 日-12 月 2 日, 東京)
  17. 中瀬克己、嶋 貴子、今井光信: 自発的 HIV 検査相談における即日検査導入の影響と効果評価の体制. 第 20 回日本エイズ学会学術集会・総会. (平成 18 年 11 月 30 日-12 月 2 日, 東京)
  18. 近藤真規子、須藤弘二、嶋 貴子、高橋華子、相楽裕子、武部 豊、今井光信: 日本で検出された CRF01\_AE/B リコンビナント HIV-1 の解析. 第 20 回日本エイズ学会学術集会・総会. (平成 18 年 11 月 30 日-12 月 2 日, 東京)
  19. 井戸田一朗、藤純一郎、平井由児、安並毅、嶋 貴子、今井光信、戸塚恭一: HIV 陽性 MSM における不活化 A 型肝炎ワクチンに対する抗体反応. 第 20 回日本エイズ学会学術集会・総会. (平成 18 年 11 月 30 日-12 月 2 日, 東京)
  20. 嶋 貴子: HIV 検査の全国状況-即日検査を中心に-. 第 52 回神奈川県公衆衛生学会シンポジウム. (平成 18 年 11 月 14 日, 横浜)
  21. 嶋 貴子、今井光信、谷口晴記、早川 智、外川正生、塚原優己、稲葉憲之: 妊婦集団における HIV スクリーニング検査の偽陽性出現率に関する調査. 第 80 回日本感染症学会総会・学術講演会. (平成 18 年 4 月 20-21 日, 東京)
  22. 矢永由里子: 学会シンポジウム妊婦 HIV 検査陽性への対応の問題点. 第 20 回日本エイズ学会学術集会・総会 2006 年 11 月 30 日 (東京)
  23. 矢永由里子: 学会シンポジウム PHA のメンタルサポートのセーフティネット構築へ向けて: 検査で陽性告知を受けた HIV 感染者をどう支援していくか. 第 20 回日本エイズ学会学術集会・総会 2006 年 12 月 1 日 (東京)
  24. 矢永由里子: 電話相談の現状と課題~今後の電話相談のあり方を考える~. 第 20 回日本エイズ学会学術集会・総会 2006 年 12 月 20 日 (東京)
  25. 辻麻理子: ブロック拠点病院、拠点病院、行政間の連携における出張研修の効果. 第 20 回日本エイズ学会学術集会・総会 2006 年 11 月 30 日 (東京)
  26. 高田知恵子: アサーション (自分の意思を適切に伝える側面) に注目して実施した高校生へのエイズ-性教育について. 第 20 回日本エイズ学会学術集会・総会 2006 年 11 月 30 日 (東京)
  27. 高田知恵子: 学会シンポジウムメンタル